

自己評価報告書

平成23年 4月 15日現在

機関番号：10101

研究種目：若手研究（A）

研究期間：2008～2011

課題番号：20682005

研究課題名（和文） シーア派イスラーム社会を中心とした聖地巡礼の比較史的研究

研究課題名（英文） Comparative History of Pilgrimage and Holy Places
in the Shi'ite Society

研究代表者

守川 知子（MORIKAWA TOMOKO）

北海道大学・大学院文学研究科・准教授

研究者番号：00431297

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・史学一般

キーワード：聖地、巡礼、シーア派、比較史

1. 研究計画の概要

(1) シーア派イスラーム社会における聖地巡礼という信仰形態の一表象について、日本やキリスト教社会との比較社会史の視点から深化・発展させる。

(2) イランを中心とするシーア派社会の中での「イマームザーデ（＝イマームの子孫の墓廟）」参詣について、歴史的観点から新たなアプローチを試みる。

2. 研究の進捗状況

(1) これまでに、キリスト教社会で最大規模とされるサンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼とローマ巡礼について重点的に調査を行い、さらにアルメニア、グルジア、ギリシアなどのカトリック以外のキリスト教国の聖地巡礼について調査した。その結果、アルプス以南とコーカサスに位置するこれらの地域では、イスラーム圏との直接的な接触により、聖地巡礼のあり方に、イスラーム社会ときわめて似通った点があることが明らかとなった。

シーア派社会の聖地巡礼については、当該研究期間中に3回の招待講演を行い、うち2件は国際的なシンポジウムや研究会である。このほか国内外の学会に積極的に参加報告し、英語での論文が出版予定である。

(2) イランでの現地調査が行えていないので、イマームザーデ祠廟の立地や祠廟内に掲示される縁起譚の確認がまったくできていないが、これまでに行った別の国での調査により、「聖地」もしくは「巡礼地」の歴史的な生成過程について、ある種の「法則」を見出した。現在は、歴史研究として、イランに数多くある祠廟を中心に、「聖地」の

生成過程を検討中である。

イランの祠廟については、2件の学会発表を行い、その生成の時代的背景について検討中である。

2010年1月には、北海道大学大学院文学研究科からの助成を受け、「シーア派社会と聖地・聖廟——歴史学の視点から」題したシンポジウムを企画・開催し、4名の報告者と1名のコメンテーターを招聘し、本研究代表者も報告を行った。

このほか、「聖地」から発展した宗教都市について、辞典項目などの依頼原稿を数点執筆しており、サファヴィー朝期イランのシーア派信仰の根幹にかかわる学術論文では2010年に学会賞を受賞した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）主にキリスト教（カトリックを中心に）社会の様々な聖地巡礼を調査しており、シーア派もしくはイスラーム社会との比較検討の最小限の材料は得られているため。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、日本を含めたアジア社会の聖地巡礼を調査し、異なる地域社会・宗教コミュニティの「巡礼」をより広範に比較検討していきたい。さらに、「聖地」生成の歴史的過程を明らかにするため、イランでの現地調査の機会を設け、自身の仮説の裏付けを試みる。ただし政治状況等により現地調査が行えない場合は、歴史文献からのアプローチを試みる。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

- ① Morikawa, Tomoko, “Pilgrimage to the Iraqi ‘Atabat from Qajar Iran”, *Journal of Shia Islamic Studies*, (査読有), in print.
- ② 守川知子 「「イラン史」の誕生」『歴史学研究』(査読有) 863、2010、12-21頁。
- ③ 守川知子 「バイエルン州立図書館所蔵 Cod.pers.431 写本をめぐって—書写奥書署名 Ismā’il b. Ḥaydar al-Ḥusaynī とは誰か?」『東方学』(査読有) 117、2009、176-157頁。

[学会発表] (計8件)

- ① 守川知子 「神と人をつなぐ場へ——シーア派ムスリムの聖地巡礼」2010年度後期・日本イスラム協会公開講演会、東京大学本郷キャンパス、2010/11/23.
- ② 守川知子 「シャー・イスマーイールとサファヴィー朝初期のシーア派信仰」東方学会総会、芝蘭会館、京都、2010/11/06.
- ③ Morikawa, Tomoko, ““Ziyara” and “Ziyaratgah” in 19th century Iran” The Eighth Biennial Conference of Iranian Studies, DoubleTree Guest Suites, Santa Monica (USA), 2010/05/28.
- ④ Morikawa, Tomoko, “Pilgrimage to the Iraqi ‘Atabat from Qajar Iran”, Sunni-Shii Mausoleums and Saint Veneration in Iraq and Neighbouring Countries, University of St. Andrews, Scotland (UK), 2010/04/12.
- ⑤ 守川知子 「ペルシア語旅行記にみるイマーム廟とイラン社会」、「シーア派社会と聖地・聖廟——歴史学の視点から」、北海道大学、2010/01/30.
- ⑥ Morikawa, Tomoko, “Pilgrimage of the Dead -- 'Transfer of Corpses' to the 'Atabat from Qajar Iran”, Dialogue on Death and Life: Views from Egypt, Bibliotheca Alexandrina, 2009/10/03.
- ⑦ 守川知子 「「イラン史」の誕生」、歴史学研究会総合部会 2008年度第3回例会、東京大学、2009/03/28.
- ⑧ Morikawa, Tomoko, “Pilgrims and Immigration Procedures at the Iran-Iraq Border in the Latter Half of the 19th Century”, The Seventh Biennial Conference of Iranian Studies, Toronto University (Canada), 2008/08/02.

[図書] (計2件)

- ① 守川知子・稲葉穰 『伝ウマル・ハイヤーム著 ノウルーズの書』京都大学人文科

学研究所附属東アジア人文情報学研究センター、2011、160頁。

- ② 守川知子 「ナジャフ」「カルバラー」『世界地理講座 西アジア』、立川武蔵・安田喜憲監修、朝倉書店、2010、123-124頁。